

都道府県名: 富山県 団体名: 常願寺川沿岸用水土地改良区連合

地域

常願寺川沿岸用水土地改良区連合は、富山県の中央部に位置する一級河川常願寺川の両岸7,020haに及ぶ農地を潤す常東用水・常西用水の取水施設である横江頭首工や、共通幹線水路、水路橋を管理する団体です。

富山市、立山町、舟橋村にまたがる受益地では、寛文年間(約350年前)から農業が営まれ、現在は稲作を主体としたほか、大豆、大麦、野菜ではねぎが多く栽培されています。

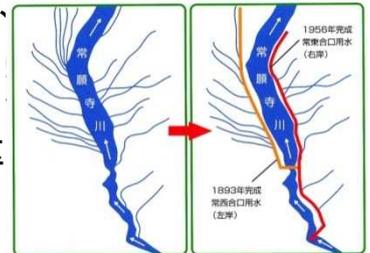
経緯

常願寺川は、安政年間の大地震で発生した立山カルデラの大崩壊による深刻な土石流災害により極端な天井川となり、毎年洪水被害を起こす暴れ川となっていました。

- ・砂防工事が進むにつれ、逆に川床低下による取水困難の解消
- ・河川堤防の強化(取水箇所が多いと堤防が脆弱)
- ・取水に係る維持管理の低減(多数→1箇所)

を目的として、両岸用水の合口化を行う国営農業水利事業常願寺川地区(S17~S27年)により、横江頭首工等が築造されました。

- ・昭和17年~27年 国営農業水利事業「常願寺川地区」
- ・昭和35年10月 常願寺川沿岸用水土地改良区連合 設立
- ・昭和51年~55年 国営造成土地改良施設整備事業「常願寺川地区」
- ・平成11年~21年 国営総合農地防災事業「常願寺川沿岸地区」



功績内容

- 7,020haの農地を潤すための農業水利施設(横江頭首工など)の維持・管理
- 農業水利施設の役割や多面的機能を普及啓発する「小学生施設見学会」、「水土里探訪ウォーク」の開催
- 農業者負担の軽減のための農業用水を利用した小水力発電の推進

横江頭首工



疏水百選「常西合口用水」



水神(常東用水)



水土里探訪ウォーク・イン「常願寺川」

発電所(イメージ)



小水力発電「中滝」(平成28年度中に完成予定)



小学生「施設見学会」